



いしずえ

恵那北中学校 学校だより 第261号
発行：令和5年2月24日（金）

◇「いしずえ」の名称は、校歌の一節「学ぶことそれは礎」から生涯学習の基礎を学ぶ生徒達の心と体の成長を願ってつけました。
◇NOは創刊号以来の通番でつけております。

誇りのもてる学校

校長 可知 浩幸

もうすぐ3月を迎えます。「誇りのもてる学校にしたい」と願い、「今日が楽しく明日が待ち遠しい学校にしよう」を合言葉に、自律するために歩みを進めた恵那北中学校の令和4年度が、残すところあとわずかとなりました。この一年間、学校の諸活動や生徒会活動、総合的な学習の時間の授業等あらゆる方面で、保護者、地域の皆様の多大なるご支援をいただきました。本当に多くの皆様方に学校に来ていただきました。おかげ様で生徒達は、心身ともに皆一回り大きく成長しました。皆様方の支えがあってこそその成長だと、職員を代表して感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、来年度さらに「誇りのもてる学校」にしていくために、先月取りまとめた学校評価を基にこの一年を振り返り、来年度の学校の課題を明らかにしました。

【令和5年度の学校課題】

- 「自ら考え、判断し、行動する」自律した生き方を自己決定し、困難なことにも果敢に挑むたくましさをじっくりと養うこと
- 主体的に、他者（仲間・教師・外部講師等）と協働しながら学びを深める授業や活動を通して、確かで豊かな学力を身に付けること
- 家庭、地域と繋がって、ふるさと学習の一層の充実を図り、主体性・社会性・郷土愛を育むこと

キーワードは、「自律・協働」です。そこで、この自律・協働する生徒の育成をめざして、令和5年度の学校経営の基本方針案を大きく4つ決めました。

【学校経営の基本方針案】 ※正式決定は来年度4月3日の職員会

- ◇「できた」「わかった」「授業が楽しい！」と学力の向上と勉強の楽しさを実感する学習指導
 - ・生徒が確かで豊かな学力をつけるために、学期に2回の定期テスト（中間・期末テスト）で成績をつける評価方法から、月に2回程度の単元テストで成績をつける評価方法に変えていきます。
 - ・生徒が家でも学校でも主体的に楽しんで学習に取り組めるようにするため、生徒自ら課題を見つけ仲間と交流しながら課題を解決していく生徒主体の授業にしていきます。
- ◇「今日が楽しく明日が待ち遠しい！」と笑顔で言える生活指導
 - ・生徒の個性を伸ばし、自己肯定感・有用感を高めるため、年間を通して放課後に“飛躍の時間”を設定し、部活動や生徒集会、各行事（体育大会・合唱祭・駅伝大会等）の取組を充実させます。
- ◇「もっとよくなりたい！」と前向きになる健康指導
 - ・生徒がその気になって、意気に感じて挑戦できるようにするため、「ほめて育てる、失敗してもOK」な安心できる環境を整えます。
 - ・学習計画ノートの代わりに、タブレットのアプリ「スクールライフノート」を活用し、全職員で生徒の心の変化を把握し、声かけや見届け、支援につなげていきます。
- ◇「ステキだな！」と自慢できる学校づくり
 - ・「こんな自分になりたい」「そのためにこれに挑戦したい」と、毎日目的意識をもって登校する生徒を育てます。
 - ・地域との繋がりを強めるため、企画段階から生徒が参画するボランティア活動を推進します。

令和5年度の恵那北中学校は、教育活動全体を通して、「自律する生徒になれたか」、「協働する生徒になれたか」という生徒の姿で評価・改善しながら、誇りのもてる学校にしていきます。どうか、保護者、地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。